

やき ち だい 焼地台公園案内図

森林体験交流センター
11月～4月の休む



「オロセ倉」

焼地台公園を見下ろし、湯之沢地区の真正面の大きな岩倉を「オロセ倉」と言います。地名について特に口承などはありませんが、「オロセ」とは、アイヌ語で「大きな岩場、神の住む神聖な倉」と言う意味からきたと言われ、原住民の神々である「於呂閉志」がらきたのではないかと説かれています。

むかし、むかし、このオロセ倉の中腹の洞穴に薬師如来様が住んでいましたが、オロセ倉の上は地区の草刈り場であったことから、草刈りに連れてきた馬が所かまわず悪さをするものだから、たずねず本屋敷に移り住んだと言い伝えられています。

今でも、湯之沢地区のシンボルとして人々に愛されている岩倉です。